

## MISUMI Art Collection

**Marina Kappos** (マリーナ・カボス)

《窓／タイル》2004年、アクリル絵具／キャンバス

カリフォルニア州パサデナに生まれ、ロサンジェルス的美大を出たあと、名門イエール大学の修士号取得。才女である。3年前ロサンジェルス・カウンティ美術館のハロウィンパーティーで妹と見事優勝。

双子の妹ロニーは大学で美術史を勉強後、アンティーク・ビーズでアクセサリを作っている。彼女のジュエリーはTVや広告、NYLON、TEEN VOGUEなどで紹介されている。

結婚は妹に先を越されたが、マリーナは制作三昧。この作品もシックで知的な色使いと構成が際立っている。でも何か変な感じがするのは何故か。答えは、「描いた後何かつまらないので上下逆にしてみたら色のバランスも良くなったの」。この作品は異なるモチーフの様々な作品を自由に並べて展示した作品。その中から4点をミスミ用に選んでくれたものの中の1点。数回以上来日し、いつも好物のお寿司をリクエスト、さび抜き言葉も覚えた。

現在はニューヨークで制作を続けているが、日本のように貸し画廊のない厳しい競争社会、作品も少しパンク風に変化しているようだ。

 **MISUMI**

ミスミグループ通信 vol.46

2016年4月1日～2016年9月30日



© Marina Kappos

 **MISUMI**

株式会社 ミスミグループ本社

〒112-8583 東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル

TEL: (03)5805-7037 FAX: (03)5805-7372

URL: <http://www.misumi.co.jp/>

証券コード:9962

## Top Message

メーカー事業と流通事業を併せ持つ  
ミスミならではの強みを発揮し、  
EC基盤を核とする事業基盤をより一層強化してまいります。



代表取締役社長 CEO 大野 龍隆

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
製造業が世界規模で構造転換を迎える今、メーカー事業、流通事業、  
そしてそれらを支える事業基盤を3本柱に、  
生産材プラットフォームへと業態変革を図っています。

### ■2017年3月期第2四半期累計連結業績について

2017年3月期第2四半期累計期間(以下、16年度上期)の世界経済は、全体として緩やかな回復が続きましたが、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れするなど、一部に弱さが見られました。こうした海外経済の不確実性の高まりが、日本経済への景気下押しの懸念材料となっており、金融資本市場の変動の影響等にも留意しなければならない状況となっています。

こうした環境下、ミスミグループは、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献し、同時に事業拡大を加速させています。ITを核とした新たなものづくりに応えるため、引き続きウェブ戦略を推進し競争力を強化しました。また、海外における拠点展開として、最適調達を目的とした現地生産・現地調達の取り組みを推進し、グローバル「确实短納期供給体制」の強化に努めました。これらの取り組みなどにより、為替変動の影響を受けたものの、

自動車業界やエレクトロニクス業界の需要増を取り込んだFA事業や取り扱いメーカー数を拡大し顧客数が増加したVONA事業を中心に売上高が増加し、連結業績の拡大を牽引しました。

その結果、16年度上期の連結売上高は1,218億円、前年同期比で4.8%(現地通貨ベース11.5%)の増収となりました。利益については、営業利益は132億円(前年同期比+5.8%)、経常利益は131億円(前年同期比+7.7%)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は83億円(前年同期比で+3.3%)となりました。売上高・利益ともに上期決算として過去最高を更新しました。

また、配当金につきましては、11年度期末配当より配当性向を20%から25%に引き上げておりますが、今年度もこの基準を引き続き維持することにしました。

その結果、1株当たりの中間配当金は7円61銭とし、前年同期比24銭の増配とさせていただきます。

## ■事業基盤の強化

### ミスミEC基盤の強み



### 〈ミスミEC基盤の強み〉

ミスミグループは、インダストリー4.0をはじめ製造業の世界規模の構造転換にいち早く対応するため、生産プラットフォームへの抜本的業態変革に取り組んでいます。その3本柱となるのが、メーカー事業と流通事業、そしてそれらを支える事業基盤です。

現在、EC基盤を核とする事業基盤の抜本強化に注力していますが、当社のEC基盤の強みは、「eカタログ」と「Web Order System(ウェブオーダーシステム)」の組み合わせにあります。eカタログは、受注製作(MTO\*)品を

含めると800垓(1兆<sup>がい</sup>の800億倍)フル検索対応が瞬時に可能で、VONA事業に参画している2,600社を超えるメーカーブランドから横断的な絞り込みができるなど、商品検索・選定において圧倒的優位性を確保しています。また、ウェブオーダーシステムは、顧客のBOM(部品表)から直接発注できるなど、顧客の見積・発注の手間や時間を大幅に削減しています。今後は、設備設計担当者や購買担当者のものづくりのワークシーンに沿って、EC基盤のさらなる進化に取り組んでいきます。

\*MTO:Make To Order

### ミスミEC基盤のさらなる進化



### 〈第3のメディアCAD対応強化〉

2016年度に行っているEC基盤強化の取り組みの代表例がCAD対応の強化です。紙カタログ、WEB(eカタログ)に続く第3のメディアとしてCADを位置付け、設計過程の中で部品選定・見積りが自動的に完結できるしくみを設計担当者に提供することで、商品選定から発注までの時間を劇的に短縮することができます。これも、メーカー事業と流通事業を併せ持つミスミならではの強みといえます。

具体的な取り組みとしては、2016年10月より、設計の迅速化を支援するアプリケーションサービス「RAPiD

Design」を順次リリースし、設計時間の大幅短縮効果を拡大しています。また、2016年6月より3Dデータをアップロードするだけで部品選定、見積りが自動的に完結する「meviy」のサービスを開始しましたが、利便性が着実に浸透することによって利用者が着実に増加しており、商品領域の拡大による今後の業績への貢献を見込んでいます。

今後もITへの積極投資により、EC基盤の強化を引き続き推進し、製造業のより一層の業務効率化に貢献していきます。

## 海外拠点



## 〈アジアのサプライチェーン強化〉

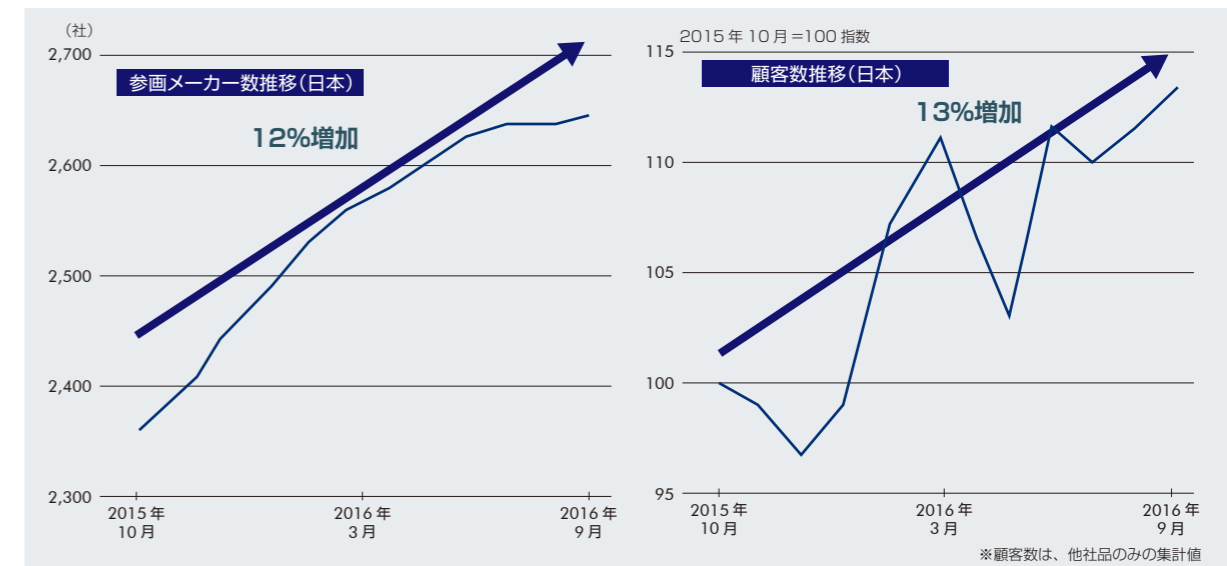
グローバル展開を加速するミスミグループにとって、海外拠点も重要な事業基盤です。当社では、経済成長の著しいベトナムをはじめAEC(アセアン経済共同体)諸国に着目し、アジア地域での「確実短納期」の進化に向け、サプライチェーンの再構築を図っています。

また、ベトナムでは、これまで第1～4工場を設立し、当社のグローバル展開において、重要な生産拠点として位置付けてきました。今後はこれに加え、更なる大きな成長が見込まれる重要な市場としても位置付けてまいります。

そこで、進出が加速する日本や韓国のメーカーに対応するため、ベトナムに現地法人を設立し、ハノイ本社、ホーチミン営業所の南北2極体制で、2016年12月に受注を開始する予定です。今後は、ベトナム現地法人を起点として、大手携帯・電機・電子メーカーが積極投資を続けるベトナム市場に確固たる基盤を作ってまいります。

## ■成長が続くVONA事業

## VONA事業成長ドライバー



VONA\*事業は、FA事業、金型部品事業と並ぶミスミグループの中核事業です。ミスミブランド以外の他社製品も含めた生産設備関連部品から、製造副資材やMRO(消耗品)等へ品揃えを大幅に拡大し、グローバルの生産間接資材全体を事業の対象領域としています。

VONA事業の成長のカギは、品揃え強化に伴う顧客数の増加にあります。品揃えの拡大を支える仕入体制の強化に努めた結果、取扱メーカー数は2,600社を超え、顧客数も順調に拡大しました。

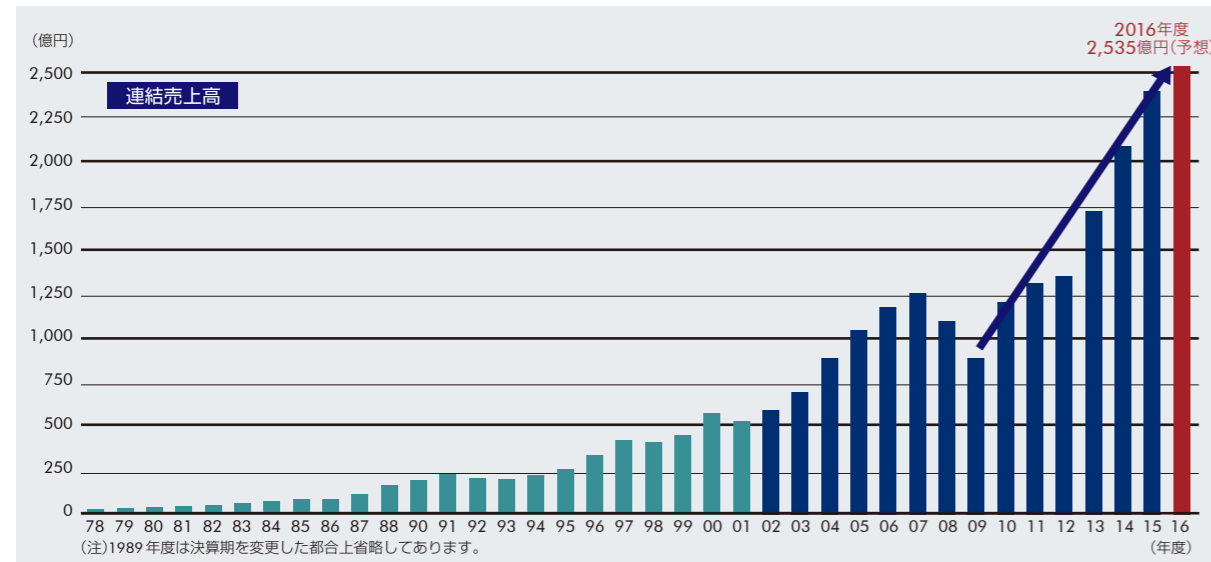
2016年度上期においては、このような品揃えの整備と

グローバル展開に向けたEC基盤を強化してきました。下期においては、国内は全方位型のプロモーション活動を展開する一方で、海外ではグローバル展開に向けたEC基盤の機能向上を本格化させてまいります。これによって、テストマーケティングを経て本格的なプロモーション活動へと順次移行してまいります。

\*VONA: Variation & One-stop by New Alliance

## ■2017年3月期の連結業績見通し

### ミスミグループの業績推移



2016年度はアジアにおける中国やアジア新興国の成長鈍化など世界経済の先行き不透明感が残る中、当社は市場動向や競合状況をしっかりと見極めながら、FA・金型部品・VONAの3事業全てにおいて成長を加速させてまいります。地域ごとにミスミQCTモデルを磨き込み、グローバルでの一層の競争力強化を図ることにより、連結売上高、利益ともに前期に引き続き過去最高を更新する見通しです。

また、期末配当金を含めた年間配当金は、中間配当金の7円61銭と合わせ16円23銭となり、前年比81銭の増配となる見通しです。

今後とも引き続きグローバル展開を加速し、成長のけん引役である国際事業のさらなる拡大を図るとともに、コストダウンと業務プロセス効率化による収益性の維持・向上につとめてまいります。

株主の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2016年12月

代表取締役社長 CEO 大野 龍隆

## 二足歩行ロボット格闘技大会(通称:ROBO-ONE)に協賛 ～ミスミグループは「ものづくり」への情熱を応援します～

ミスミグループは、一般社団法人二足歩行ロボット協会が主催するロボット格闘技大会「ROBO-ONE」にメインスポンサーとして協賛しました。

ミスミグループは、2008年より「学生ものづくり支援」として自動車やロボットの競技会に参加する学生サークルに対して、公募・審査の上でミスミFA用メカニカル商品など

を無償で提供するなど、将来のものづくりを担う学生を支援してまいりました。2015年度には180を超えるサークルに対する支援実績があります。

このたび新たに「ROBO-ONE」への協賛を通じて、技術系の学生や企業の技術者など、ものづくりに関わる人々に対するさらなる支援を行ってまいります。

### 二足歩行ロボット格闘技大会(通称:ROBO-ONE)の概要

ROBO-ONEは2002年より年2回開催されている二足歩行ロボットの格闘技大会です。パンチや投げ技などで相手を倒します。3分1ラウンド、3ダウン制でトーナメントを行い、最強の二足歩行ロボットを決定します。



「ROBO-ONE」競技風景

〈大会名〉	〈開催日時〉	〈大会会場〉	〈参加者数〉
MISUMI presents 第13回 ROBO-ONE Light	2016年9月24日(土)	神奈川県立青少年センター	76台
MISUMI presents 第29回 ROBO-ONE	2016年9月25日(日)		146台

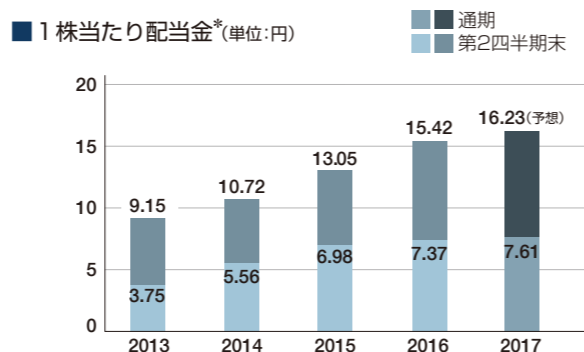
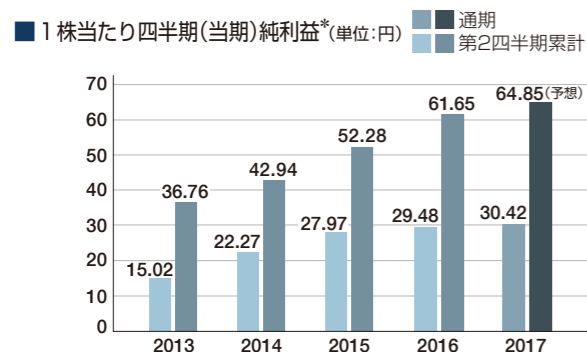
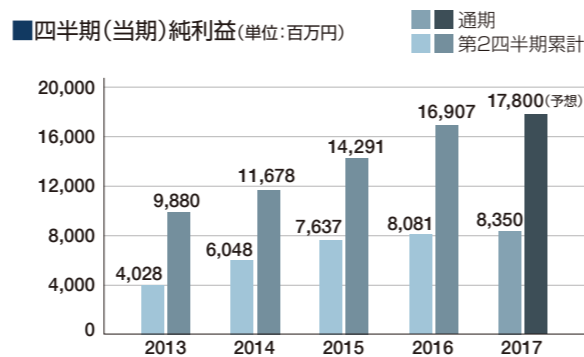
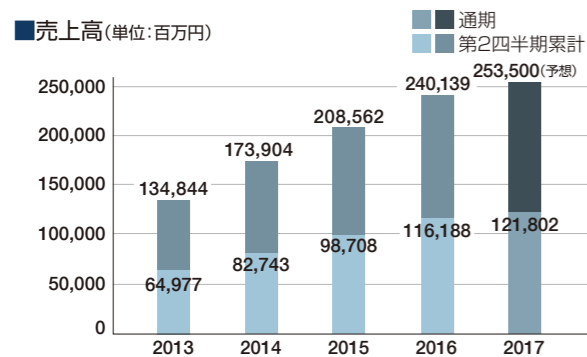
## ■連結業績ハイライト

2017年3月期 第2四半期の売上高は1,218億円(前年同期比4.8%増)となり半期決算として過去最高を更新しました。利益については、積極的な事業拡大に向けた人材強化やEC基盤拡充などの費用増加等により、営業利益は132億円(同5.8%増)、四半期純利益は83億円(同3.3%増)となりました。

セグメント別売上高は、FA事業400億円(前年同期比5.2%増)、金型部品事業329億円(同5.6%減)、VONA事業488億円(同7.7%増)となりました。

地域別売上高は、日本667億円(前年同期比9.3%増)、中国204億円(同12.7%増)、アジア142億円(同3.3%減)、アメリカ122億円(同11.9%減)、ヨーロッパ61億円(同2.6%増)、その他19億円(同15.7%減)となり、海外売上高比率も45.2%となりました。

なお、配当性向の基準を11年度期末配当より20%から25%に引き上げており、第2四半期末の配当金を7円61銭(前年同期比24銭の増配)とさせていただきます。



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。\*2015年7月1日付の株式分割調整後。

## 事業概要

FAなどの自動機の標準部品を主に扱うFA事業、自動車や電子・電気機器などの金型部品を主に扱う金型部品事業、新たな流通事業としてミスミブランド以外の他社商品も含めた生産設備関連部品に加えて、製造副資材やMRO(消耗品)などを販売するVONA事業で構成されております。

### ■ミスミグループの主な取扱製品

取扱商品群	精密機械部品 1,600万点				
<b>FA事業</b> FA用メカニカル標準部品	シャフト	タイミングプーリ	リニアプッシュ	リニアガイド	
位置決め・計測機器(OST事業)	自動ステージユニット	アクチュエータ	光学計測器	光デバイス組立検査装置	
<b>金型部品事業</b> プレス金型用標準部品	パンチ	ボタンタイ	精密級ガイドピン	ガススプリング	
プラ型用標準部品	エジェクタピン	スプルーブッシュ	パーティングロックセット	テーパピン	
<b>VONA事業</b> メカニカル部品/ねじ・ボルト・座金・ナット	センサ・スイッチ	継手	ねじ・ボルト・ナット	キャスト	
配線部品/制御部品・PC部品	コネクタ	スイッチ	ケーブル	トランス	
切削工具/生産加工用品	エンドミル	ペンチ	旋盤用チップ	ワイヤー線	
梱包・物流保管用品/安全保護・環境衛生・オフィス用品	台車	作業用手袋	パーツクリーナー	研究開発用品	

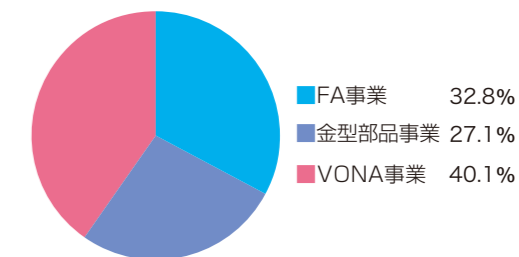
\*FA: Factory Automation \*OST: Optical & Scientific Technology \*VONA: Variation & One-stop by New Alliance

### ■セグメント別売上高・営業利益の推移(単位:百万円)

	当第2四半期 2016.4.1~2016.9.30		前第2四半期 2015.4.1~2015.9.30	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
FA事業	40,011	6,222	38,038	6,504
金型部品事業	32,980	2,129	34,953	2,243
VONA事業	48,810	5,158	45,301	5,320
調整額	-	△215	△2,105	△1,505
合計	121,802	13,295	116,188	12,563

\*2014年4月より、上記の3事業にセグメントを変更しております。

### ■連結売上高比率 [2016.9.30]



■連結貸借対照表(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2016.9.30	前第2四半期 2015.9.30	前期 2016.3.31
<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>	<b>139,741</b>	<b>135,069</b>	<b>140,795</b>
現金及び預金	55,865	50,934	52,891
受取手形及び売掛金	48,324	46,279	49,373
有価証券	—	1,001	—
たな卸資産	28,836	30,708	30,058
その他	6,973	6,506	8,727
貸倒引当金	△259	△361	△257
<b>固定資産</b>	<b>47,560</b>	<b>53,480</b>	<b>53,391</b>
有形固定資産	26,148	28,605	29,180
無形固定資産	16,832	20,372	19,714
ソフトウェア	7,141	5,231	6,159
のれん	1,725	4,468	3,457
その他	7,965	10,672	10,097
投資その他の資産	4,579	4,503	4,495
<b>資産合計</b>	<b>187,302</b>	<b>188,550</b>	<b>194,186</b>

科目	当第2四半期 2016.9.30	前第2四半期 2015.9.30	前期 2016.3.31
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>	<b>26,598</b>	<b>29,350</b>	<b>31,585</b>
支払手形及び買掛金	12,820	13,013	14,414
短期借入金	—	87	—
未払金	5,142	5,190	5,951
未払法人税等	3,811	3,652	3,847
賞与引当金	1,874	1,727	2,383
役員賞与引当金	124	172	310
その他	2,824	5,504	4,679
<b>固定負債</b>	<b>18,685</b>	<b>21,037</b>	<b>20,267</b>
新株予約権付社債	10,112	11,996	11,268
長期借入金	—	39	—
退職給付に係る負債	4,238	3,764	3,992
その他	4,335	5,237	5,006
<b>負債合計</b>	<b>45,284</b>	<b>50,388</b>	<b>51,853</b>
<b>(純資産の部)</b>			
<b>株主資本</b>	<b>144,733</b>	<b>131,536</b>	<b>138,475</b>
資本金	7,070	6,929	6,996
資本剰余金	17,459	17,317	17,385
利益剰余金	120,280	107,365	114,169
自己株式	△76	△76	△76
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△3,617</b>	<b>5,831</b>	<b>2,986</b>
<b>新株予約権</b>	<b>434</b>	<b>248</b>	<b>342</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>467</b>	<b>546</b>	<b>527</b>
<b>純資産合計</b>	<b>142,017</b>	<b>138,161</b>	<b>142,333</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>187,302</b>	<b>188,550</b>	<b>194,186</b>

■連結損益計算書(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2016.4.1~ 2016.9.30	前第2四半期 2015.4.1~ 2015.9.30	前期 2015.4.1~ 2016.3.31
売上高	121,802	116,188	240,139
売上原価	71,469	66,878	139,096
売上総利益	50,332	49,310	101,043
販売費及び一般管理費	37,036	36,747	75,352
営業利益	13,295	12,563	25,690
営業外収益	268	259	536
営業外費用	450	643	1,108
経常利益	13,114	12,179	25,119
特別利益	—	109	109
特別損失	—	225	225
税金等調整前四半期(当期)純利益	13,114	12,063	25,003
法人税等	4,734	3,959	8,053
四半期(当期)純利益	8,379	8,103	16,950
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	28	22	42
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	8,350	8,081	16,907

■連結キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2016.4.1~ 2016.9.30	前第2四半期 2015.4.1~ 2015.9.30	前期 2015.4.1~ 2016.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,262	5,791	16,714
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,395	△1,431	△9,470
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,088	△1,545	△3,581
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,108	△291	△1,724
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,460	2,523	1,937
現金及び現金同等物の期首残高	39,204	37,267	37,267
現金及び現金同等物の四半期(当期)期末残高	46,883	39,790	39,204

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■発行可能株式総数 1,020,000,000株

■発行済株式総数 274,802,052株

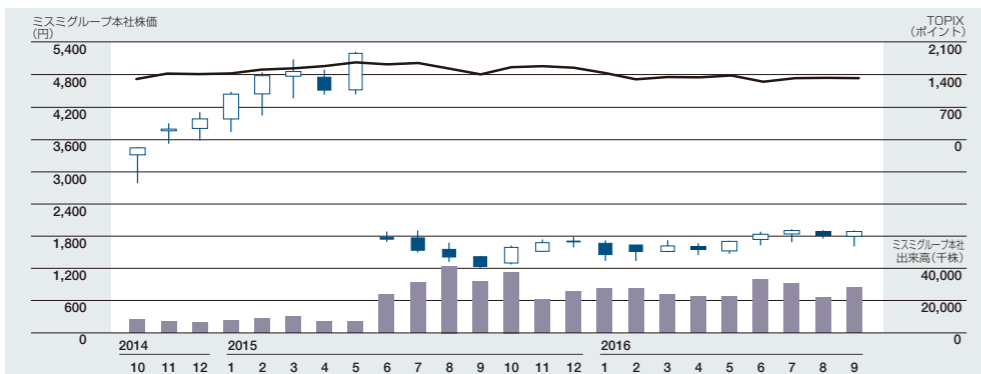
■株主数 4,224名

■大株主

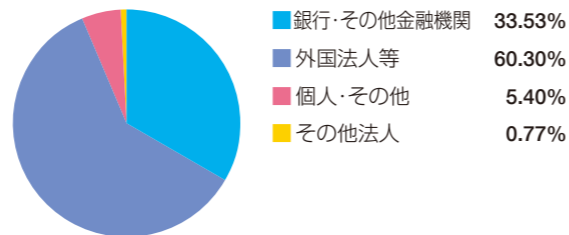
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	42,392	15.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	23,025	8.38
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	10,678	3.89
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 常任代理人 香港上海銀行東京支店	8,160	2.97
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS 常任代理人 香港上海銀行東京支店	7,506	2.73
田口 弘	6,713	2.44
CREDIT SUISSE SECURITIES (USA) LLC SPCL. FOR EXCL. BEN 常任代理人 クレディ・スイス証券株式会社	6,099	2.22
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	6,063	2.21
資産管理サービス信託銀行	5,681	2.07
GOLDMAN,SACHS&CO.REG 常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社	5,575	2.03

(注) 持株比率は小数点以下第 3 位を四捨五入しております。

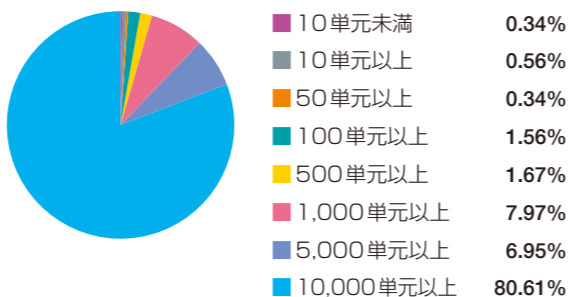
■株価の推移



■株主構成  
所有者別株式分布状況



■所有株数別株式分布状況(1単元の株式数100株)



■会社概要

商 号 株式会社ミスミグループ本社  
(英文名:MISUMI Group Inc.)  
設 立 1963年2月23日  
本 社 東京都文京区後楽二丁目5番1号  
飯田橋ファーストビル  
資 本 金 70億70百万円  
事 業 内 容 グループの経営戦略立案や管理ならびに  
それらに付随するグループ経営に必要な機  
能を有する  
従 業 員 数 9,880名(ミスミグループ連結)  
U R L http://www.misumi.co.jp/

■ミスミグループトップマネジメント(2016年12月1日現在)

取締役  
取締役(議長) 三枝 匡 取締役会議長  
取締役 大野 龍隆 代表取締役社長 CEO  
取締役 江口 正彦 取締役副社長  
取締役 池口 徳也 専務取締役  
取締役 男澤 一郎 常務取締役 CFO  
取締役(社外) 沼上 幹  
取締役(社外) 小城 武彦

■経営執行役員

ミスミグループ本社  
代表取締役社長 CEO 大野 龍隆  
取締役副社長 江口 正彦  
専務取締役 池口 徳也  
常務取締役 CFO 男澤 一郎  
常務執行役員 内田 洋輔  
常務執行役員 CIO 佐藤 年成  
執行役員 有賀 誠

■企業体・本部・サービスプラットフォーム

中国企業体CEO 金谷 知樹  
アジア企業体CEO 清水 重貴  
金型企業体社長 和田 高明  
OST企業体社長 丸井 武  
FA商品事業本部長 中川 理恵  
VONA商品事業本部長 中村 茂仁  
VONA商品事業副本部長 高阪 貴夫  
生産サービスプラットフォーム代表執行役員 岡本 道明  
MIGサービスプラットフォーム代表執行役員 白尾 直樹  
ITサービスプラットフォーム代表執行役員 峰島 孝之

■監査役

監査役 宮本 博史  
監査役(社外) 野末 寿一  
監査役(社外) 平井 秀忠

■顧問

特別顧問・創業者 田口 弘

■株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 6月  
基準日 定時株主総会・期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(同送付先) 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-232-7111(通話料無料)

上場証券取引所 市場第1部

公告の方法 電子公告  
ただし、電子公告によることができない  
事故その他やむを得ない事由が生じた場  
合は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載URL http://www.misumi.co.jp/ir/

お知らせ

株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未済株式買取請求書等)のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

TEL(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)  
インターネットアドレス http://www.tr.mufj.jp/daikou/

業績予想に関する留意事項

この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、国内および諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいてありますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、さまざまな要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをお知らせください。

実際の業績に影響を与え得る重要な要素にはミスミグループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。